

人形峠製レンガの製造及び搬出について

第29回
原子力委員会
資料第1号

1. 解決に向けた取り組み

平成18年5月に鳥取県知事、三朝町長、文部科学大臣及び当機構理事長の間で締結された「ウラン残土の措置に関する協定書」に基づきレンガ加工場の建設を行い、平成22年12月までに約145万個のレンガを製造し、平成23年6月末までに全量搬出することができた。

平成18年	5月31日	鳥取県知事、三朝町長、文部科学大臣、原子力機構理事長の四者間で「方面ウラン残土の措置に関する協定書」を調印 残りの掘削土の撤去について、 ○平成18年11月までに方面捨石堆積場から撤去。 ○掘削土を原料としてレンガを製造し、この製品を平成23年6月末までに全量搬出。 ○レンガ製造施設を設置。製品搬出完了後1年以内に解体撤去。 ○掘削土の一部を使用して、極微量ウラン影響効果試験を実施。
	8月～11月	方面掘削土の撤去搬出作業
平成19年	5月18日	レンガ加工場建設工事着工
平成20年	4月28日	レンガ加工場開所式
	4月～5月	試運転（約2万個製造） 試運転で製造したレンガを用いて物性確認試験を実施 レンガの性能、ウラン溶出量、ラドン散逸率、使用シナリオ評価等から、 <u>一般に使用するに当たり、放射線上及び性能上、特に留意すべきことはない。</u>
	9月11日	三朝町議会全員協議会で物性確認試験結果説明、町内での試用提案
	9月19日	三朝町議会全員協議会で試用を了承
	10月～	レンガ加工場の本格運転開始

平成21年	5月25日～	文部科学省、原子力機構東京事務所等でレンガの利用を開始 一般頒布もホームページ等でお知らせ
平成22年	8月 1日	三朝町内レンガモニュメント（キュリー夫妻像）除幕式
	11月12日	三朝町内レンガ広場（三朝キュリー公園）完成歩初め式
	12月13日	レンガ製造終了
平成23年	6月30日	レンガ搬出終了

2. レンガの製造及び搬出実績

製 造 数 量；約145万個

拠点等搬出数量；約 52万個

一 般 頒 布 数 量；約 93万個（約1800名）

3. 今後の計画

施 設・設 備 \ 年 度	平 成 2 3 年 度	平成24年度
機器設備解体撤去	機器設備解体撤去 →	
施設解体 跡地整備工事	施設解体・跡地整備 →	積雪期 工事休止 施設解体 跡地整備 →○ 6月末鳥取県返還

レンガ搬出完了までの記録



レンガ加工場運転状況



平成21年5月 文部科学省エントランス



平成21年7月 原子力機構本部入口



平成21年5月～平成23年6月 一般頒布



平成22年11月 三朝キュリー公園



平成22年12月13日 レンガ加工場での最後の梱包作業



平成23年6月30日 レンガ加工場からの最終出荷